



セゾン投信 月次運用レポート

長期投資家の皆様へ

米国経済の順調な回復ぶりが際立って来ています。ジャクソンホールでのFRB（米連邦準備理事会）イエレン議長らのメッセージに市場の注目が集まっていますが、雇用と消費の拡大が賃金上昇トレンドへと繋がり、ターゲットに向けたインフレ傾向も定着しつつあって、併せて新興国市場への資金流入も安定していることから、米金利の引き上げ環境が再び整って来たようです。この利上げは米国経済の安定的拡大基調を裏付けるものとして、市場がポジティブな反応に変わって来ていることも、直近の金融市場全体の安定に寄与しています。

黒田日銀総裁もジャクソンホールのスピーチで、更なるマイナス金利も含めた金融緩和への用意に言及し、欧州でも企業業績の停滞から追加緩和期待が高まっていて、米国の利上げと日欧の金融緩和の双方がグローバルな市場安定への前提となりつつあります。

日本経済はアベノミクス効果が剥落して、すっかり景況感も停滞気味。消費者物価指数（生鮮食品を除く）は5カ月連続マイナスと、デフレ基調に逆戻りし兼ねぬ体たらくです。そうした気分を反映して、個人投資家の資金フローはこの処すっかり夏枯れて意気消沈ですが、気が付けば米国株式市場は史上最高値を更新し、欧州株式市場でも年初水準を回復して来ています。つまり国内のムードはグローバルな市場実体を反映していません。

そうした彼我の差の中で、「セゾン号」は従前からお金をグローバル経済にしっかり働かせていて、円高の環境も良い仕込み時と捉えながら、毎月の安定した流入資金をコツコツと投入し続けて進んでおります。悪くない風向きになって来ています。

中野 晴啓

ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間 9:00～17:00 土日祝日、年末年始除く）

セゾン資産形成の達人ファンド

8月の市場動向

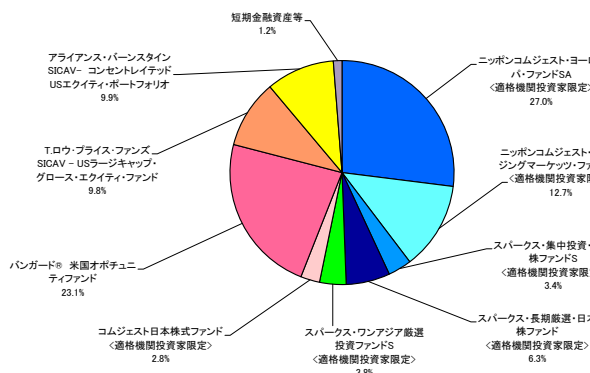
株式：【金融緩和期待の高まりを背景に中盤まで上昇したものの、終盤に米国で利上げへの警戒が高まったことを受けて反落に転じる】
前半、イギリスで政策金利の引き下げが行われたことや世界的に景気が力強さを欠くことを背景に金融緩和期待が高まり、途中まで上昇したものの、終盤には複数の当局者の発言を受けて米国で早期利上げへの警戒が高まって反落に転じ、結果的には小幅な上昇に留まりました。

為替：【ドルが途中まで軟調な展開となったものの終盤に反発、ユーロも堅調な展開となり、対ドル、対ユーロで円安】
ドルは途中まで軟調な展開となったものの、終盤に米国で利上げ観測が高まって反発し、ユーロは金融緩和拡大への期待が後退したことを背景に堅調な展開となりました。日本の金融政策の先行きへの不透明感が高まっているものの金融緩和観測が根強く、円は下落しました。

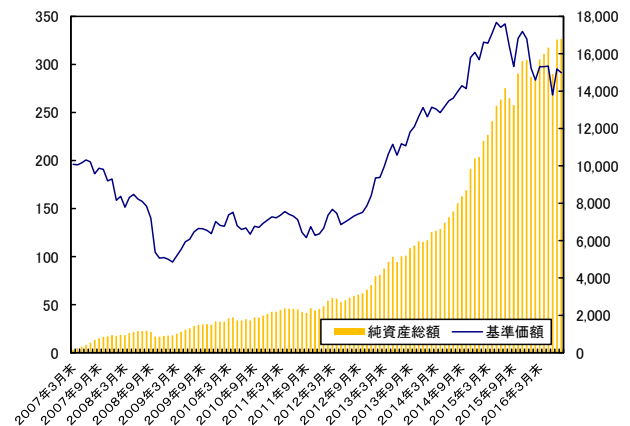
基準価額と純資産総額及び騰落率（2016年8月31日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
14,983円	326.7億円	+49.83%	-1.34%	+2.68%	-8.53%

資産配分状況(2016年8月31日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



8月の運用状況

今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランでのご購入などにより、皆さまからお預かりした資金を利用して、コムジェストヨーロッパファンド、バンガード米国オポチュニティファンド、T.ロウ・プライス米国大型グロースファンド、アライアンス・バーンスタイン米国株式集中投資ファンド、コムジェスト日本株式ファンド、スパークス・ワンアジア・厳選投資ファンド、コムジェストエマーゼィングマーケットファンドへの投資を行いました。なお、現金比率は前月とほぼ変わらず、月末時点で1.2%となっております。

ファンドマネジャーからの一言

毎年、8月にアメリカの著名な観光地の一つであるワイオミング州ジャクソンホールで開催される経済政策シンポジウムは、主要な中央銀行の幹部や政策担当者、学者が参加し、世界経済や金融政策についての討議を行なうことから、金融政策についての手がかりを得ようとする市場参加者からの高い注目を集めており、今年は米連邦準備制度理事会（FRB）のイエレン議長の講演やフィッシャー副議長の発言をきっかけに、米国の利上げ観測が高まった結果、為替市場でドルが上昇しました。

このシンポジウムでは、世界的に成長率や金利が低下している現状を踏まえて、金融政策の役割についても討議が行われ、参加者からは政府の対応を求める声が多く聞かれたほか、一部では量的緩和策やマイナス金利による副作用への懸念も示され、金融政策の限界が改めて意識されましたが、このような状況において、長期的に高い成長が期待できる企業を見つけて投資を行うことは、有用であると考えております。

当ファンドでは引き続き、地域的な分散を意識して資産配分を行うと共に、投資先ファンドを通じて、安全性や長期的な収益力を基準に銘柄の選別を行い、短期的な市場の動向ではなく投資対象の価値を重視して株式投資を継続することで、リスクを抑えながら皆様の長期的な資産形成のお役に立てるように努めて参ります。

運用部 瀬下 哲雄

基本的な投資スタンス

私共が投資対象としているファンドは、いずれも中長期的な視点で投資を行っておりますが、保有している株式が割高となった場合やより良い投資機会を発見した場合、投資先の状況に大きな変化があった場合等については銘柄の売却を行うことがあります。もちろん、どのファンドも長期投資の理念を共有しており、短期的な売買を繰り返すことはありません。

私共は各投資対象ファンドについて、各ファンドがカバーする銘柄選択の対象を幅広くすることを意識しながら目標とする地域及びファンド毎の配分比率を決定します。その上で、主にファンドの購入により配分比率の調整を行っております。もちろん、短期的な市場動向の予測に基づいて投資先ファンドの売買を行うことはございません。

当ファンドでは、各投資対象ファンドがファンダメンタル分析に基づく中長期的な視点から各銘柄への投資を行い、その上で私共が十分に国際分散を図ることができるように資産配分を行うことで、皆様の長期的な資産形成に資するよう運用を行っております。

当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

◆申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.5832%（税抜0.54%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年1.35%±0.2%（概算）となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用（有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む）、監査報酬（消費税含む）および立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

当該手数料の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮していません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<http://www.saison-am.co.jp/>

お客様窓口：03-3988-8668（受付時間 9:00~17:00 土日祝日、年末年始除く）



セゾン投信